

歯朋星陵会学術講演会

大学エキスパートからの提言を 日常臨床に活かそう!

～見つめなおそう、日々の感染対策～

日時 **2022年2月5日** 19:00～21:00
1月31日 〇申込締め切り

受講料
無 料

対象 歯科医師及び
デンタルスタッフ

定員 **100名**

形式 ZOOM配信

主催 歯朋星陵会
(東北大学歯学部同窓会宮城県支部)

歯科治療で発生する“エアロゾル”



わたなべ じゅん
渡辺 隼先生
東北大学病院 特殊診療施設
歯科医療管理部 助教

新型コロナウイルス感染症の流行により「エアロゾル感染」という表現が目立っています。現在のところ、エアロゾルの明確な定義は定まっていますが、「気体中に浮遊する微小な粒子」を意味し（マイクロ飛沫とも呼ばれています）、感染源となる細菌やウイルスが含まれていることが知られています。そのため、エアロゾルが発生する可能性のある“歯科治療”を行う我々歯科医療従事者は、エアロゾルへの理解を深める必要があります。今回の講演では、歯科治療に関連して発生する“デンタルエアロゾル”の最新知見についてご紹介させていただきます。

岩手県出身
2013年 東北大学歯学部卒業(43回生)
2018年 東北大学歯学研究科修了
(分子・再生歯科補綴学分野: 旧 歯科補綴学第一講座)
2020年 東北大学病院 特殊診療施設 感染予防対策治療部 助教
2021年 東北大学病院 特殊診療施設 歯科医療管理部 助教

2019年 日本歯科医学会 優秀発表賞 受賞
2019年 日本補綴歯科学会
課題口演優秀賞 受賞

新型コロナウイルス感染症と歯科治療～「これまで」と「これから」



こばやし ようこ
小林 洋子先生
東北大学病院 特殊診療施設
歯科医療管理部 副部長

新型コロナウイルス感染症の流行により、歯科治療を行う上で様々な対応が必要になってきました。東北大学病院歯科部門では、コロナ禍以前から感染管理室のICT (Infection Control Team) ラウンドに参加し、コロナ禍においても感染管理室とその対応に当たってきました。本講演では、東北大学病院歯科部門におけるこれまでの取り組みをご紹介しつつ、これから歯科医療が新型コロナウイルス感染症といかに共存していったら良いかを先生方と一緒に考えてみたいと思います。

福島県出身
1990年 東北大学歯学部卒業(20回生)
1994年 東北大学歯学研究科博士課程 修了
1994年 東北大学歯学部附属病院 助手
2000年 アメリカ合衆国ニューヨーク州立バッファロー校 客員研究員
2002年 東北大学大学院歯学研究科 助教
2019年 東北大学病院 特殊診療施設 感染予防対策治療部 副部長
2020年 東北大学病院 特殊診療施設 歯科医療管理部 副部長

2003年 日本歯科保存学会
デンツプライ賞 受賞



※今回の講演会はオンライン開催となっております。参加には事前登録が必要です。
左記QRコードから参加予約を行ってください。